

I 調査の概要

1. 調査の目的

男女共同参画社会の実現に向けては、男性も女性も、その能力を十分に発揮できる環境の整備が極めて重要であり、そのための意識改革や女性の就業継続の重要性が指摘されている。

これから結婚、子育てといったライフ・イベントを経験する層及び現在経験している層として、若年～中年層を対象に、それまでの就業状況や就業経験などが能力発揮やライフプランに関する意識に与える影響を把握するとともに、家庭内での役割分担等に対する意識の現状を分析し、今後の施策の参考とするために、アンケート調査を実施した。

2. 調査の対象・方法等

- 調査対象者 20歳～44歳の男女
(現在学生でまだ社会人となっていない人を除く。)

- 調査地域 日本全国

- 調査方法 調査会社の登録モニター(日経リサーチ・インターネットパネル及びA社インターネットパネル・B社インターネットパネル)を対象としたインターネット調査
 - ※ モニターに対しては、内閣府が、今後の施策の参考及び学術研究のためのデータとするための調査であることを示して実施した。

- 調査時期 平成21年2月27日(金)～平成21年3月5日(木)

- 調査の企画・分析に当たっては、以下の有識者にご協力をいただいた。
(五十音順・敬称略)
 - 坂爪洋美 (和光大学教授)
 - *佐藤博樹 (東京大学教授)
 - 武石恵美子 (法政大学教授)
 - ※ *は男女共同参画会議仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)に関する専門調査会会長、○は同専門調査会委員

- 調査委託機関 株式会社 日経リサーチ

3. 回収状況

- 「住民基本台帳に基づく人口・人口動態及び世帯数（平成20年3月31日現在）都道府県別の年齢階級別人口」より地域ブロック別年代別の男女人口を算出した後に、20歳～29歳については労働力調査（平成20年平均）の学生の比率分を除いたものを算出し、9地域ブロック5年代・男女別の90区分ごとに、計1万件の回収目標数（以下「区分ごとの回収目標数」という。）を設定した。（表1参照）

表1 回収目標数・集計対象数

北海道	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	合計
全体	49	79	97	98	89	412
男	23	39	48	48	43	201
女	26	40	49	50	46	211
東北	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	合計
全体	82	130	153	151	142	658
男	39	66	78	77	71	331
女	43	64	75	74	71	327
関東	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	合計
全体	405	696	850	894	751	3,596
男	196	362	444	467	395	1,864
女	209	334	406	427	356	1,732
北陸・甲信越	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	合計
全体	73	113	144	146	130	606
男	35	58	74	75	66	308
女	38	55	70	71	64	298
東海	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	合計
全体	140	224	279	293	248	1,184
男	68	117	145	152	128	610
女	72	107	134	141	120	574
近畿	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	合計
全体	196	310	390	413	345	1,654
男	92	153	194	206	171	816
女	104	157	196	207	174	838
中国	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	合計
全体	68	105	130	131	111	545
男	32	53	66	66	55	272
女	36	52	64	65	56	273
四国	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	合計
全体	34	54	68	67	59	282
男	16	27	34	33	29	139
女	18	27	34	34	30	143
九州・沖縄	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	合計
全体	139	215	248	242	219	1,063
男	64	105	123	119	106	517
女	75	110	125	123	113	546
全国	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	合計
全体	1,186	1,926	2,359	2,435	2,094	10,000
男	565	980	1,206	1,243	1,064	5,058
女	621	946	1,153	1,192	1,030	4,942

※ 総務省「住民基本台帳に基づく人口数(平成20年3月31日現在)」に基づき、各区分ごとに計1万件を割付。

※ 現在学生であってまだ社会人となっていない人は調査対象に含まれないことから、20歳代の割付けに際しては、労働力調査(平成20年平均)より「通学」または「通学のかたわら仕事」とした者の割合(20～24歳男性38.0%・女性の28.8%、25～29歳の男性の3.3%・女性の2.1%)を勘案して、男女別の必要数を算出した上で、地域ブロックごとの割付けを行った。

- 区分ごとの回収目標数と回収率を考慮し、モニターの登録情報をもとに、全国9地域ブロックについて性別・年齢ごとに割当てを行って、調査期間中にアンケートへの協力依頼を送付し、表2のとおり計14,946件のサンプルを回収した。
- 協力依頼の送付に際しては、日経リサーチ・インターネットパネルをまず対象とし、モニターが相対的に少なく回収サンプルの不足が見込まれる区分については、A社及びB社のインターネットパネルも対象とした。

表2 回収数

北海道	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	合計
全体	80	103	138	172	153	646
男	35	51	77	83	67	313
女	45	52	61	89	86	333
東北	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	合計
全体	138	176	229	231	233	1,007
男	54	84	122	118	116	494
女	84	92	107	113	117	513
関東	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	合計
全体	674	1,024	1,112	1,189	1,102	5,101
男	304	517	587	646	600	2,654
女	370	507	525	543	502	2,447
北陸・甲信越	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	合計
全体	137	173	202	243	212	967
男	65	78	109	135	115	502
女	72	95	93	108	97	465
東海	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	合計
全体	263	379	431	445	400	1,918
男	121	174	236	239	218	988
女	142	205	195	206	182	930
近畿	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	合計
全体	333	531	523	594	536	2,517
男	124	229	263	308	273	1,197
女	209	302	260	286	263	1,320
中国	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	合計
全体	111	165	192	203	190	861
男	40	69	93	103	111	416
女	71	96	99	100	79	445
四国	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	合計
全体	54	85	94	105	79	417
男	23	39	51	60	38	211
女	31	46	43	45	41	206
九州・沖縄	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	合計
全体	218	310	318	334	332	1,512
男	77	141	146	165	156	685
女	141	169	172	169	176	827
全国	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	合計
全体	2,008	2,946	3,239	3,516	3,237	14,946
男	843	1,382	1,684	1,857	1,694	7,460
女	1,165	1,564	1,555	1,659	1,543	7,486

4. 集計対象サンプルの抽出

回収した回答の中から、以下の手順により抽出した1万件を集計対象とした。

- (1) 全回収数14,946件のうち、現在学生でまだ社会人となっておらず、調査対象外となるもの(Q1-3において、「現在まだ学生で、これまでに学校を出て仕事についてことはない」を選択したもの)4サンプルを削除し、14,942件を有効回答とした。
- (2) 日経リサーチ・インターネットパネル及びA社インターネットパネルの登録モニターから得られたサンプルの中から、表1 回収目標数・集計対象数に照らして区分ごとに必要数を無作為に抽出した。その上で不足が生じた中国ブロック及び四国ブロックの20代男性についてのみ、B社インターネットパネルの登録モニターから得られたサンプルから同様に必要数を区分ごとに無作為に抽出し(計6件)、集計対象に含めた。

5. 調査事項

- 基本的な属性
性別／年齢／婚姻状況／世帯構成／教育／収入など
- 現在までの就業状況や就業経験
これまで経験してきた就業形態／初職(仕事についてからの5年間で最も長く勤務した勤め先)・現職の状況(就業形態、職種、職場の状況、仕事の内容)／結婚や出産等で仕事を辞めた経験とその理由など
- 仕事に関する今後の希望と能力形成の状況
今後希望する働き方／そのために現在していることなど
- 家庭内での役割分担等に対する意識
女性のライフコースに対する意識／配偶者との役割分担に関する意識と実際など
- 生活面に関する意識

6. 集計作業の際のチェック

- ある質問について、相互に矛盾する選択肢が選択されること(例えば、Q7-6「あなたは現在、悩みや不安を感じていますか。(いくつでも)」について「自分の健康に不安があること」と「現在、特に悩みや不安はない」を両方選択するなど)を防止するため、相互に矛盾する回答をモニターが入力できないよう入力画面を作成して調査を行った。(参考資料2 調査に使用した質問票)
- 二つ以上の関連する質問の回答間で矛盾がないかどうかについては、回収後に論理チェックを行い、集計対象サンプルについては、表3に従って対応した。

表3 データ論理チェック及び対応

エラー件数	エラー内容	対応
58	Q1-6<Q1-6SQ1回答個数	Q1-6SQ1を「無回答」にする
21	Q1-6=3-6&SQ1=1のみ	Q1-6SQ1を「無回答」にする
4	Q1-3=2&Q2-4=2	Q1-3を「3」にし、サンプル削除する
5	Q1-2<Q2-6	Q2-6を「無回答」にする
353	Q2-7=0&Q3-1≠4&Q3-6=2-4	Q2-7を「無回答」にする
192	Q1-7<Q4-6	Q1-7の回答にQ4-6の回答を上書きする。その際に「年収1千万円以上～1500万円未満」と、「1500万円以上」については、Q1-7の世帯年収で該当する刻みのうち、最も少ない刻みに入れる
5	Q4-8 1日&25時間以上	時間の回答を「無回答」にする
6	Q4-8 2日&49時間以上	時間の回答を「無回答」にする
1	Q4-8 3日&73時間以上	時間の回答を「無回答」にする
57	Q3-6=4&Q5-3=2-3	Q5-3の2、3の回答を削除する
34	Q2-4=2&Q5-3=2-3	Q5-3の2、3の回答を削除する
5	Q3-6=4&Q5-3SQ1=1	Q5-3SQ1の1の回答を削除する
5	Q2-4=2&Q5-3SQ1=1	Q5-3SQ1の1の回答を削除する
33	Q2-4=2&Q6-2=1-2	Q6-2、Q6-2SQ1、Q6-2SQ2を「無回答」にする
33	Q2-4=2&Q6-5=1-2	Q6-5、Q6-5SQ1、Q6-5SQ2、Q6-5SQ3を「無回答」にする
19	Q2-4=2&Q6-6A=1-7	Q6-6A1-8(「9働いていなかった」を除き)全ての回答を削除し、Q6-6ASQ1も削除する
7	Q2-4=2&Q6-6B=1-8	Q6-6B1-9(「10働いていなかった」を除き)全ての回答を削除する

7. 調査結果を利用する際の留意事項

○ 調査方法について

この調査は、調査会社に登録されているモニターを対象に実施したインターネット調査であり、母集団の代表性を確保するために無作為に抽出した標本を対象としたものではない。

○ 対象者の範囲について

就業状況や就業経験などが能力発揮やライフプランに関する意識に与える影響を把握するため、社会人としての就業経験のない学生(Q1-3で「現在まだ学生で、これまでに学校を出て仕事についていたことはない」を選択した場合)は調査対象外とした。このため、20歳～29歳に関する調査結果を中心として、学生の相当数を除いて得られたものであることに留意が必要である。

○ 回答数について

クロス集計の中には、各項目の回答数が少なくなっているものも掲載している。

○ 「初職」について

「初職」とは、初めて仕事についてからの5年間で、最も長い期間勤務した勤め先(A社)を指している(p81)。

○ 「無回答」の扱いについて

この調査では、回答入力画面の機械制御により、すべての設問を必須入力として実施した。各設問の集計結果の中で「無回答」に計上されて

いるのは、データチェックの際に論理エラーのため無効とした回答数である。

○ この報告書における集計・分析について

調査では、今後の施策の参考及び学術研究のためのデータとするため、幅広い項目について設問を設けているが、この報告書においては、仕事における女性の能力発揮を中心に集計結果をまとめた。

調査によって得られたデータについては、今後、学術研究にも活用されるよう、東京大学社会科学研究所附属社会調査・データアーカイブ研究センターのSSJデータアーカイブへの寄託を予定している。